



ザンビア田舎の風景



ビクトリアの滝

NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

ORMZ ニュース第 29 号 (H26.6.28)

事務局：宮崎市生目台西 4-7-7 (fax0985-54-5711) 文責：理事長 日高良雄



はじめに 天候不順が続いています。関東では「ヒョウ」が降ったようです。各地の皆様にはいかがお過ごしですか。気候の変化、気温の変化が以前より大きい感じですので、体調管理にご注意ください。

会の経過報告 先日経過報告をいたしましたので今回も会として特にご報告することはありません。

今回は、ルアノ地区での井戸掘削の様子について報告がありましたのでお届けします。

なお、当法人のホームページ (<http://ormz.or.jp/>) や、市民活動を寄付で応援する総合サイト「アタラコ」に登録しました当法人のアドレス (<http://ataraco.com/info/archives/1684>) をご覧いただき、お友達にもお知らせ頂けるとありがたいです。今後とも賛助会員増などにご協力ください。

賛助会費の納入について 26 事業年度 (26 年 1 月から 12 月です) の賛助会費をまだ納入されていない方は、どうぞ賛助会費(一口 5000 円、一口以上) の送金と連絡をお願いします。納入したかどうかわからない際は、法人代表 [✉ info@ormz.or.jp](mailto:info@ormz.or.jp) または日高 (hidaka1956@gmail.com) へ連絡してください。折り返しお返事をさせていただきます。どうぞよろしくをお願いします。

★郵ちょ銀行からの振替

口座記号番号 01720-9-126351

加入者名 NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

★他の金融機関からの送金

郵ちょ銀行 店名：一七九、預金種目：当座、口座番号：0126351

加入者名： NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

カナ名称 (全角)：トクヒ) ザンビアノヘンチイリョウオシエンスルカイ (注：ヲ→オ)

現地活動報告 (櫻井睦子さんから)

応援にきていただいている櫻井睦子さんから、ルアノ地区での井戸掘削の様子が報告されました。

「ルアノにきれいな水を！ 長年村人たちが夢見た井戸が実現」です。

◎ 「ルアノにきれいな水を！ 長年村人たちが夢見た井戸が実現」

6月12日、井戸掘削会社の大型トラック4台とピックアップトラックを先導して、ORMZのランドクルーザーが通い慣れたルアノの悪路をいつもよりグッとスピードを落とした時速10km以下で進んでいく。

大きなトラックがあのかついV字の谷を通れるのか？その後の急な上り坂は登れるのか？そして大きな石がゴロゴロしているあの難所は？？？ルアノの住人たちはトラックが通れるように道に張り出していた木の枝を払ってくれてはいたが、ザンビアでも有数のこの悪路はいかんともし難い。正直言って井戸掘りチームの車両が本当にルアノにたどり着けるかどうかは五分五分かそれ以下だとランドクルーザーに乗った誰もが思っていた。

バックミラーにトラックの姿がなかなか現れないと、今度こそ前進できなくなったかと最悪の事態を想定する。しかし、しばらくすると砂埃の中から勳章のように掘削機に木の枝を引っ掛けた姿でトラックが巨体をゆさゆさ揺らしながら誇らしげに現れる。

苦闘数時間。何度もハラハラさせられたが、井戸掘りチームはついに無事現場に到着し、ルアノ住人の歓喜の声と踊りにつつまれた。

一息入れる間もなく、トラックの上の掘削機が立てられて盛大に埃を巻き上げながらルアノの住民が長年夢見ていた井戸掘りが始まった。

1本目の井戸は、いつも診療を行っている小さなヘルスポストの前方に掘られた。よほど運がよかったのか、我々が翌日昼ごろ到着した時には既に60mを掘り終わり排水路まで完成させていた。ルアノに井戸水が噴き出る歴史的瞬間を見逃してしまったのである。残念！



完成した井戸

は既に60mを掘り終わり排水路まで完成させていた。ルアノに井戸水が噴き出る歴史的瞬間を見逃してしまったのである。残念！

実をいうとあまりに完成が早かったので、水が出た喜びよりも本当に60m掘ってくれたのかと掘削会社を大いに疑ったのだが、水は出ているし掘削過程で地中からでた砂・石などのサンプルもきちんとあるので大丈夫だろうということになった。

2本目はヘルスポストから約5kmの隣の村落に掘った。この井戸はずいぶん苦戦した。一か所目のコミュニティースクール校庭は水が出ない、二か所目のコミュニティースクール向かいのグラウンドも空井戸、

三か所目もダメで四か所目でやっと水が出た。

両井戸とも排水路も完成し使うばかりとなったのだが、ザンビア大学で水質検査したところ、ヘルスポストの井戸はサルフェイト(*)が基準より多く検出され胃腸障害を起こす可能性があるということで、しばらくポンプで水を汲み出して井戸を洗い、1週間後に再び水質検査をして安全性を確認することになっている。コミュニティースクール近くの2本目の井戸は問題が無く飲料水として使用を開始する。



トラックと井戸掘削機



井戸掘削を見守る子ども達



完成した井戸を見守る人々

今まで濁った小川の水が唯一の水源であったルアノの人たちにとって、身近に井戸ができたことは本当に歴史的な大事件だ。水が原因だった小児の下痢などの病気もなくなり、人々の生活が改善することは間違いがない。

現在、診療日にはヘルスポストのわきにマーケットが店開きし一大社交場になっている。
今度は井戸の周りに人が集まって近隣の人々が一層活気づくだろう。

*注：サルフェイトとは=硫酸塩のことで、マグネシウムなどのミネラル成分と硫酸基が結合してできたものです。ミネラルの一種であるわけですが、市販されているミネラルウォーターをはじめ、じゃがいもやブロッコリーなどの食べ物にも含まれています。また、人間の体にも存在している成分で人体に必須ではありますが、多量に摂取してよいのか悪いのかは諸説があり、また状況にもよるとされています



ザンビア情報 (在日ザンビア大使館のHP情報より)

アフリカ南部の国ザンビアは、総面積 752,614 平方キロメートルに及ぶ陸地に囲まれています。九つの州に分けられ、ルサカ州（首都）、中央州、銅ベルト州、東部州、ルアプラ州、北部州、北西部、西部州、南部州があります。ザンビアはタンザニア、マラウイ、ボツワナ、アンゴラ、ジンバブエ、ナミビア、モザンビーク、そしてコンゴ民主共和国と国境を共有しています。

ザンビアは素晴らしい熱帯性気候で、雨季と乾季がはっきり分かれています。気温は 15°C から 35°C です。

アフリカ南部地域の表面積 25% の水資源を所有しており、ザンベジ川、カフェ川、ルアングワ川、チャンベシ川、タンガニーカ湖、バングウェウル湖、ムウェル湖そしてカリバ湖が主な水資源です。

総面積 752,614 平方キロメートルのうち、47% は耕地、30% は国立公園とゲーム管理区域、丘と沼地が 12%、森林地帯が 9% を占めています。その一方、都市開発は国土のたった 2% です。ザンビアの耕地の 14% だけが開墾中で、農業は巨大な ‘ハニーポット’ のように魅力的な機会になるでしょう。

人口は約 10,285,631 (2,000 年の国勢調査)、人口密度は 1 平方キロメートルあたり平均 10 人。

主な輸出用の農産物は、タバコ、小麦、綿花、コーヒー、カシューナッツ、トウモロコシ、大豆、魚、果物、野菜です。

*次回はザンビアでの観光についてお知らせします

終わりに

今回は、ルアノ地区での井戸掘削の様子を主にお知らせしました。この取り組みも、皆様からの温かいご支援の賜です。これまでのご支援に心から感謝申し上げます。

今後ともご支援のほどよろしく申し上げます。